



3月定例会

平成26年度予算審議 ..... 2

一般質問  
5名が登壇、村政を問う ..... 8

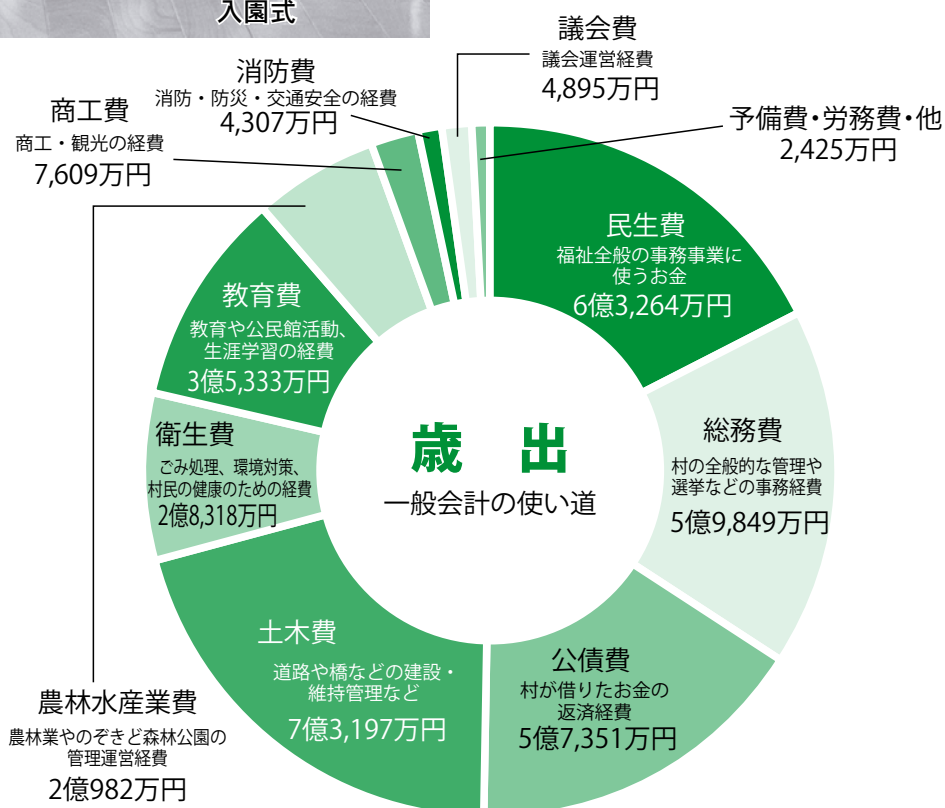
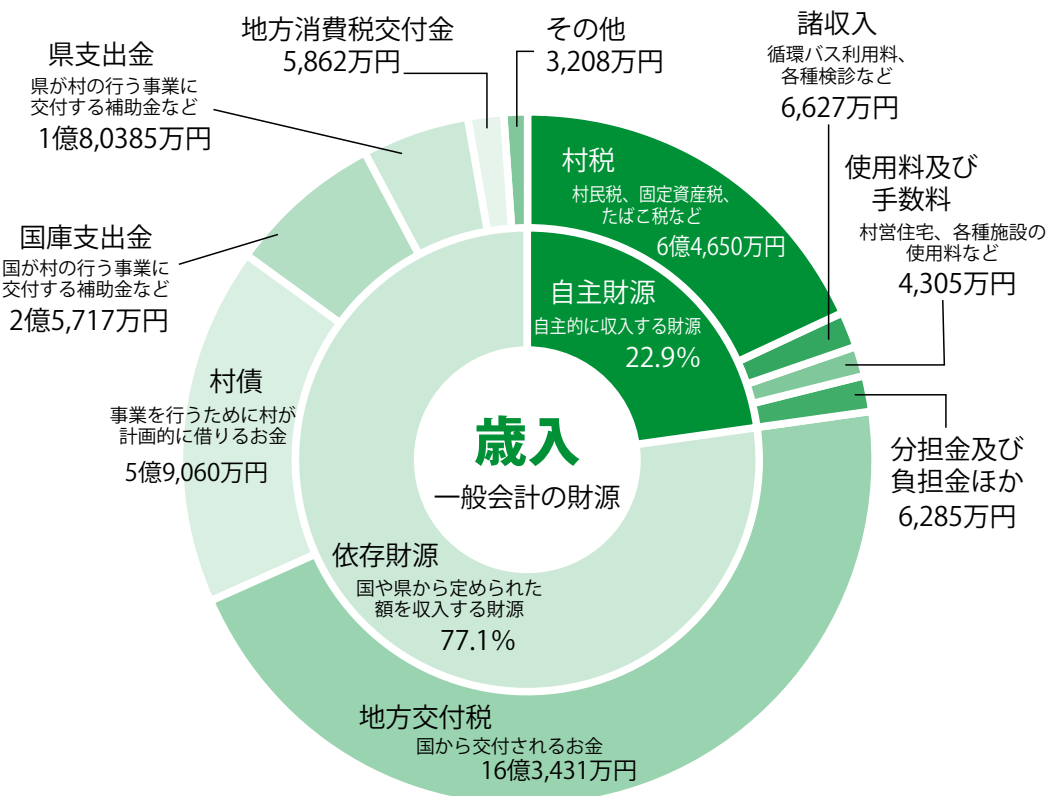
新コーナー  
サークル紹介 ..... 14

# 笑顔と自然に包まれた美しい村づくりを 万円でスタート

## 3月 定例会



入園式



3月定例会は、3月5日から28日まで24日間の会期で開かれ、常任委員長、組合議員、議長、村長、監査委員からの諸報告の後、請願2件、陳情1件を審議。

一般質問は5名5件。村長提出議案は補正予算6件、条例改正6件、計画の策定・変更3件、新年度予算6件、村道認定などその他の議案2件、副村長の人事案件が上程され、慎重審議可決しました。また、議員発議1件も可決しました。

一般会計予算前年度対比9.4%増

35億7,530

平成26年度  
予算成立

新規事業ピックアップ



土木費



村道下在阿寺線

改良事業

(1億185万円)

村道長野殿線 (大桑橋)

予備設計、河川測量

(2144万円)

村道大桑駅線

改良事業

(1億2204万円)

衛生費



野尻駅前公衆トイレ

測量設計

(211万円)

インフルエンザワクチン  
助成

1歳から高校生まで助成

(74万円)

不妊、不育治療

治療費の補助

(40万円)

消防費

避難所表示板

避難所13施設へ表示板設置

(17万円)



商工費

阿寺溪谷入り口駐車場

左岸側へ駐車場設置

(115万円)

教育費

下在郷分館

建設工事

(8000万円)

村民体育館

照明改修工事

(2095万円)

# 新年度 予算 Q&A

## 国の制裁措置

**Q** 国は、25年度中に公務員給与の削減に応じなかった市町村には、公共事業関連の補助金を減らすという影響はあるか。

**A** 26年度予算には影響していないが、実施自治体には40%未実施には30%の補助で行われた事業があった。

**Q** このような制裁措置をどう思うか。

**A** 削減の努力、実行はしてきたが、その時点で応じなかったことが対象になるのは、自治体の主体性を欠くことで残念だ。

## 道の駅に電気自動車充電装置設置

**Q** 道の駅に電気自動車急速充電装置を設置するが、維持管理はどうなるか。郡下の設置状況、電気自動車の普及状況は。

**A** 設置費用は、国と自動車メーカーが全額負担し、維持管理は村負担となるが、500円の利用者収入もある。楢川は設置済みで、賤母も予定地。現在、所有者は少ないが、国は30キロおき位に設置計画し電気自動車の普及を考えている。

## 起債残高の増加は

**Q** 大型事業の予定が多いが、今後10年間の起債残高はどのくらいになるか。

**A** 今年度は起債が増え残高は45億程になるが、庁舎建設まで

に40億に下げたい。

## 野尻駅前公衆トイレ

**Q** 設計予定の野尻駅前公衆トイレの規模は。また、今後の設置予定は。

**A** 女性用2基、男性用大小1基づつで、誰でも使用可能な身障者対応型で、橋場に設置したトイレの倍ほどの規模。野尻・須原・大桑の順に計画する。

## LPGガス発電機設置

**Q** 購入した発電機はどこへ配置するか。

**A** 災害時に大型のガスに取り付ける発電機1基を小学校の給食室に配置する。

**Q** 停電時に発電システムは大切だが、今後の配置計画は。

**A** 基本的に避難所に指定してある施設

には灯油の発電機を配置してある。また、保育園も給食用の低圧ガスがあるので、ガス用の発電機を検討中。

## 粉碎機の購入

**Q** 間伐材の処理などに粉碎機を購入すると思うが、粉碎したものはどのように活用するのか。

**A** 粉碎したチップは歩道の舗装やたい肥などで活用できる。粉碎機を使用した地域の皆さんに活用していただきたい。

**Q** 松くい虫やナラ枯れの被害木を粉碎して菌や虫が飛散する恐れはないのか。

**A** 松枯れやナラ枯れの被害木の幼虫も死滅するまで粉碎できるので、薫蒸した木も処理できる。

## 会計別当初予算集計表

| 会 計           | 本年度<br>予算額<br>(単位:万円) | 前年度<br>予算額<br>(単位:万円) | 前年度比           |            |
|---------------|-----------------------|-----------------------|----------------|------------|
|               |                       |                       | 増減額<br>(単位:万円) | 増減率<br>(%) |
| 一般会計          | 357,530               | 326,870               | 30,660         | 9.4        |
| 村営水道事業特別会計    | 28,093                | 24,848                | 3,245          | 13.1       |
| 国民健康保険事業特別会計  | 40,560                | 41,310                | △750           | △1.8       |
| 農業集落排水事業特別会計  | 16,699                | 13,909                | 2,790          | 20.1       |
| 公共下水道事業特別会計   | 11,214                | 11,232                | △18            | △0.2       |
| 後期高齢者医療事業特別会計 | 6,735                 | 5,952                 | 783            | 13.2       |

25年度

# 補正予算質疑

1,533万円を追加

一般会計総額 34億9,745万円

## 庁舎建設基金

**Q** 本年度6000万円計上しているが、現在どのくらいになっているか。また、建設の準備は始めているか。

**A** 現在、3億3000万円になっていく。新年度に準備室を立ち上げる予定。

## 豪雪による被害

**Q** 本年度の豪雪に係る経費はどのくらいか。路線により除雪の遅れた場所があったようだが対応はどうだったか。

**A** 現在のところ1000万円ほど。

シーズン初めにバス路線、交通量等により除雪の優先順位を業者と打ち合わせをしている。今回は、停電復旧のための除雪を優先したため遅れた路線があった。

業者間で融通するよう指導はしている。  
(遅れた路線の手伝等)

## 中学校に空調設備設置

**Q** 事業の内容、終了時期は。

**A** 普通教室、特別教室、その他9教室に設置する。普通教室から始め、授業に影響しないよう土、日に作業を行い、夏までには完了したい。



駐在員会

## 駐在員手当の増額

**Q** 駐在員手当の補正内容は。

**A** 平成18年度より減額になっていた手当を26年度から増額する予定でいる。今回は段階的に引き上げるため補正した。

## みなし控除の適用は

**Q** 一人親家庭が増えているなか、支援としてみなし控除の実情と今後の考えは。

**A** 村では2、3世帯該当している。新年度から控除の申請があれば適用していく。

## 福祉灯油券

**Q** 現況と今後の予定は。

**A** 本年度170人に発行。毎年、状況を勘案しながら対策していく。

## 会計別補正状況

| 会 計           | 補正額    | 総 額     | 主な内容（歳出）（単位：万円）                                         |
|---------------|--------|---------|---------------------------------------------------------|
| 一 般 会 計       | 1,533  | 349,745 | 中学校空調整備工事 1,577<br>農業用施設災害復旧事業 △1,348<br>庁舎建設基金積立 6,000 |
| 村営水道事業特別会計    | △145   | 25,694  | 不要減額等                                                   |
| 国民健康保険事業特別会計  | △79    | 43,381  | 負担金等の確定による減                                             |
| 農業集落排水事業特別会計  | △1,779 | 12,238  | 右岸道路施工延長の減 △1,779                                       |
| 公共下水道事業特別会計   | △241   | 10,991  | 異動による人件費の減等 △255                                        |
| 後期高齢者医療事業特別会計 | 97     | 6,049   | 負担金の確定による増等 101                                         |

# こんなことが決まりました

## 消防退団者による機能別消防団新設

### 条例改正

- 大桑村一般職の職員の給与に関する条例の一部改正
- 大桑村非常勤消防団員に係る退職報奨金の支給に関する条例の一部改正
- 大桑村社会教育委員設置条例の一部改正
- 国の法律等の一部改正に伴う関係条文の改正
- 特別職の職員で非常勤の者の報酬に関する条例の一部改正
- 各種委員の月額、日額報酬の改定
- 大桑村消防団条例の一部改正

●大桑村福祉医療費給付金条例の一部改正

支給対象者について、現行制度と相違があるため改正

### 計画

- 第5次大桑村総合計画（基本構想）
- 平成26年度から35年度までの総合計画（基本構想）の策定
- 大桑村過疎地域自立促進計画の変更
- 事業の追加に伴う計画の変更
- 辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更
- 事業費の増額による計画の変更
- 村道路線の認定及び変更
- 農林道16路線を村道認定し、村道4路線の起終点等を変更
- 木曽広域連合ふるさと基金に係る出資金の権利一部放棄
- 基金の一部を取り崩し広域の事業費とする。

### その他

### 請願

- 特定秘密保護法の廃止を求める請願
- 日本国民救援会
- 木曽支部
- 事務局長 松原弘吉
- 古畑 昌夫
- 瓜尾美佐子
- 結果 反対多数 不採択
- 集団的自衛権に関する憲法解釈を変更することに反対する請願
- 請願団体 長野県平和委員会
- 代表 永井光明 他
- 紹介議員 瓜尾美佐子 古畑 昌夫
- 結果 賛成多数 採択

### 陳情

- 過労死防止基本法の制定を求める意見書採択を求める陳情
- 陳情団体 いのちと健康をまもる長野センター
- 理事長 古畑 俊彦
- 結果 全会一致 採択
- TPP（環太平洋連携協定）交渉に関する意見書の提出
- TPP交渉において、衆参農林水産委員会等の決議を必ず実現し、国民への情報開示を徹底すること。
- 提出議員 岩佐 孝和
- 賛成議員 鈴木 武 古畑 昌夫
- 結果 全会一致 採択

### 発議

### 人事

- 副村長の選任
- 清水副村長が3月31日で退任するため、後任の副村長の選任に全会一致で同意した。
- 大桑村長野 羽根田 勉氏
- 任期 平成30年3月31日
- 清水前副村長 退任のあいさつをする
- 羽根田副村長 決意を述べる



退任のあいさつをする清水前副村長



決意を述べる羽根田副村長

## 行政報告

### ○国道19号「道の駅」ネットワーク会議

国土交通省飯田国道事務所の呼びかけによる「国道19号「道の駅」ネットワーク会議」が、塩尻市を含む木曽地方にある七つの道の駅と設置者の市町村、道路を管理する国や県の機関の代表などにより12月25日発足しました。国道19号沿線の道の駅を通じて関係機関や地域の連携を図り、

観光客らの利便性向上

を図っていかうとする

もので、会長に原木曾

町長、副会長に栗屋木

祖村長、貴舟村長を選

出しました。情報発信

の強化や観光客らの情

報収集拠点、災害時の

拠点としての設備強化

等の課題について検討

していきます。

なお、大桑の道の駅

には、26年度に関係機

関の助成を得て電気自

動車（EV）の充電ス

タンドの設置を予定し

ています。

### ○長寿をお祝い

門前下の末松と志子

さんが1月に、野尻本

町の山本一枝さんが2

月にそれぞれ百歳を迎

えられました。1月15

日と2月7日に訪問

し、長寿のお祝いを申

上げました。

### ○交通死亡事故ゼロ

3000日達成

大桑村においては、

平成17年10月26日以降

交通死亡事故がない日

々を続けていますが、

この1月11日に3000

0日を達成したことか

ら、2月27日、木曽地

方事務所において長野

県交通安全推進本部

長・長野県知事からの

市町村顕彰を受けまし

た。1日18000台

以上の車が走る国道19

号線が村内12キロを縦

貫する環境下での記録

であり、村民の交通安

全意識のたまものであ

り、交通安全協会の皆

### ○消防団新編成

4月から消防団は新編成となり、3月30日退団任命式を行いました。

消防団では団員の減

さんの啓発活動の努力のたまものであると敬意を表します。

今後とも村民の皆さんが事故に遭わない、事故を起こさない交通安全意識の高揚に努め、死亡事故ゼロの日々を続けてまいりたいと思います。



第33期

左から下起団長、平田・上條副団長、小垣外本部長

## 議会を傍聴してみませんか!!

手続きは簡単です。

本会議の当日、傍聴者名簿に氏名を記入していただくだけです。

定例会は年4回（3月、6月、9月、12月）行われます。村政を知る良い機会です。

どうぞお気軽にお越しください。

# 質 問

この問答は、質問議員が要約したものです。

岩佐 孝和 議員



## 教育委の改革案をどう考える 教育の三原則 重視は変わらない

**Q** 平成12年から実施した「ゆとり教育」についてどう評価・検証しているか。

**A** 学力の定着度では国・県を上回っている分野もあり、応用面もやや上をいく等一定の学力は定着している。

**Q** 「教育課程内の土曜授業」が取り沙汰されているが村では。教職員の勤務時間、週休2日制の定着した中で、各方面と合意形成等の問題があり、現状では考えていない。

**Q** 原則廃止とされた朝の練習。今後どう取り組んでいくのか。

**A** 1日3時間以内との指針があり、夏の練習は20分くらいで放課後の部活を補完と学校でも考えている。

**Q** 責任の所在の曖昧なことが主な理由として社会体育も廃止としているが。

**A** 県教委の主導で始まったが、今、スポーツ指導者が参加し部活動で足りないところを補っている。

**Q** 朝、授業開始まで余裕がある。少し早めて放課後の部活動の充実を。

**A** 時間の流れでは理解できるが、学校全体で考えると可能か否か相談してみたい。

**Q** 今回改革案では首長の関与が強くなる。教育の中立性、独立性をどう考えているか。

**A** 教育委の根幹は中立性、継続性、安定性を求められる。ただ、迅速な対応、責任の所在等には考える余地がある。先の三原則は守っていくべきと強く思っている。

**Q** 教育委の一元化で権限が代表に集中すると危惧する声もあるが。

**A** 首長が示す大綱に教育長は施策の執行をし、意見、チェックは委員がして教育行政を進める。

**Q** アレルギー対策と数値をどう把握しているか。

**A** 除去食、代替食の必要な中学生6人、小学生7人に対応している。

**意見** 教育問題は子どもの知能、身体をつくるに大事な時期。子どもの将来に共々想いを共有したいと思う。

**Q** 教育委の一元化で権限が代表に集中すると危惧する声もあるが。



中学校入学式



社会体育（バレーボール教室）



## Q&A 村政を問う

水野 進 議員

# 般

### 村の管理する道路、橋梁、 隧道の維持管理は

状況に応じ、柔軟・適切に対応

**Q** 自治体の基盤的インフラの維持について、国からの働きかけは。

**A** 橋の修繕や架け替えに国の補助を受ける場合、長寿命化修繕計画が必要。23年度に村道の橋98基を点検し、修繕計画を策定。今年度から修繕工事に着手する。道路に関連しては、舗装、道路橋、標識、歩道橋、トンネルなどの点検方法が示

された。村は、橋梁・トンネルの専門家による点検調査を26年度に実施する。

**Q** 25年度末現在のインフラの現状は。

**A** 村道の総延長約109km、橋梁約110基、隧道5基、路線数147、5年間平均経費3億4396万円である。農道については、総延長25km、路線数164、同経費681万円。林道は、



修繕後の伊奈川橋（田光）

総延長56km、橋梁13基、路線数24、同経費1287万円。

**Q** 現在、通行制限・禁止のところは。

**A** 大桑橋（2トン以上の車両通行禁止の制限）、恋路峠線と野尻与川線の一部（冬期間、積雪・雪崩のため通行止）。

**Q** 通行の禁止・制限情報の開示や表示は。

**A** 林道では、起・終点で看板表示する。

**Q** 林道維持管理規則は、原則としてすべての阻害要因を除去するところがあるが、一方で管理者が認めれば、通行禁止・制限ができるとし、不明瞭、かつ、ご都合主義的で、経費削減の面から、現行規定が、妥当かどうか疑問。

使用予定のない林道は、使用要望が出るまでは、機能が損なわれ

ない程度に維持すればよい。一方で、使用禁止・制限情報の収集や開示・表示を適時適切にすべきと考えるが。

**A** 村道、農林道の柔軟、適切な管理は大事。農林道でも、集落間道路は、日常的に通行可能なように管理する。しかし、受益者としての地元管理も大事な要素と思う。必要に応じて措置を講ずる。



通行制限の大桑橋

# 質 問

この問答は、質問議員が要約したものです。



鈴木 武 議員

空き家に増改築補助金制度  
が必要か  
今後の動向を注視したい

**Q** 480万円予算化した住宅増改築補助金の補助率5%を平成26年度10%に引き上げる根拠と補助対象家屋に空き家を加えることになったが、空き家所有者が村外者の場合、補助金制度利用の増改築によるセカンドハウスが懸念される。常時居住する家屋と条件をつけてはどうか。

**A** 今回、補助率引き上げを行う要因は、補助率10%ほどとしている市町村が多いこと、消費税の増税を加味したため。対象範囲拡大は、空き家増改築により空き家バンク登録数

## 意見

の増加と空き家を加えることにより改築件数の増加が期待できると判断したためであるが、今後の動向を注視したい。  
空き家を中古住宅として、再利用する「中古住宅再生プロジェクト」の創設を提案する。



空き家バンク登録の住宅（野尻）

## 企業の活性化に向け税の減免措置を

自主財源確保を優先したい

## Q

自主財源の減少により縮小予算を組む自治体がある中、当村は、9・4%増の35億7530万円の積極的型予算である。業績の良い企業による村税の増収が大きな一因のようだ。企業の活性化を促すために、既存の企業が設備投資等をしやすくする環境づくり、右岸道路が通過する和村工業団地への企業誘致を視野に入れ、「企業振興条例」の課税免除期間3年を5年



和村工業団地

## Q

自主財源の減少により縮小予算を組む自治体がある中、当村は、9・4%増の35億7530万円の積極的型予算である。業績の良い企業による村税の増収が大きな一因のようだ。企業の活性化を促すために、既存の企業が設備投資等をしやすくする環境づくり、右岸道路が通過する和村工業団地への企業誘致を視野に入れ、「企業振興条例」の課税免除期間3年を5年

## A

安定財源確保のため、事業者を理解を求め、現状でいきな



## Q&A 村政を問う

# 般

瓜尾 美佐子 議員



小学校入学式

**Q** 安倍政権は教育再生の名のもとに、国や首長の教育行政への関与を強め、教育を大きく変えようとしている。自民党の改革案では、これまで教育委

員会の権限とされていた教育政策の基本や教育条件、人事などの権限を首長に与えるとしている。首長の意見は尊重されるべきだが、教育委員会です十分話し

子どもの医療費の窓口無料化  
と受給者負担金軽減を

県に働かかけたい

負担金軽減を検討

合い、最後に判断するのは教育委員会ということでもいいか。

**A** 教育委員会の合議制で物事を決めるのが基本だと考える。

**Q** ところが改革案では、文部大臣による教育委員会への権限強化など、国による政治介入が拡大される。

すでに竹富町の教科書問題などのように、地方の意向を無視した異常な教育への政治介入が行われている。この改革で今、村で行っている平和教育など自主的な取り組みへの影響は。また、教科書採択の考え方は。

**A** 現段階では与党間の話以外情報がなく、コメントできない。

教科書採択にあたっては、保護者、現場教師の意見をよく聞いて、最終的には市町村教育委員会が決めるべきもの。

### 意見

子ども、保護者、地域住民、教職員の声をしつかり受け止め、教育行政に反映させる機能を果たせる改革こそ求められる。

**Q** 村の子どもの医療費は18歳まで無料だが、いったん立て替

えなければならぬため、窓口での無料化を求める声があり、県への署名も広がっている。全国では37都府県



保育の様子

が実施しており、知事も検討すると約束。ぜひ県に後押しをして実現させてほしい。

**A** 働きかけたい。

**Q** 現在、医療費は全額戻らず、受給者

負担として医療機関や薬局ごとに500円差し引かれる。軽減、免除している自治体もある。村として取り組みを。

**A** 検討したい。

# 一般質問



古畑 昌夫 議員

## 除雪基準の見直し

## 地震対策の充実を

## あらゆる災害に備え検討したい

**Q** 防災計画に関連して質問したい。先月の大雪の経験から、豪雪対策の検討が必要ではないか。

**A** 先月14・15日の除雪は、13の建設業者に出動を依頼し、朝早くから夜遅くまで対応してくれた。今後さらに連携を密にしたい。

**Q** 現在、除雪機の出動は「15 cm以上」となっているが、対応が遅れないように以前の「10 cm以上」に見直す必要があるのではないか。また、普段使わない除雪機の補償、行政と除雪業者の連携など改善する必要があるのでは。

**A** 平成22年度から除雪機の待機料と除雪費を合わせて支払っている。除雪の遅れているところは業者間で協力していただくようになってきている。

**Q** 排雪場所の確保についてはどうか。

**A** 今回は雪が多く、排雪で河川が詰まるところもあった。県の河川課とも協議し、地権者の了解を得て各地に雪捨て場を確保するようにしたい。

**Q** 除雪基準の見直しについてはどうか。

**A** 関係者の意見を聞いて検討したい。

**Q** 近い将来に可能性のある南海トラフ地震の位置づけは。

**A** 詳細は、平成26年度に検討して出されると聞いている。

**Q** 大桑村で想定されている「震度6弱」でどの程度の被害が考えられるか。

**A** 震度6弱では、立っているのが困難



被災した住宅 (H25.7.10 南相馬市)

で家具の移動や転倒などが想定されている。

**Q** 耐震性の弱い木造住宅の倒壊や急傾斜地の被害も想定されているが、「防災のしおり」には触れていない。

**A** 地震に対する啓発など、あらゆる災害に備えて、行政として住民の命と財産を守るために、防災マップの作成や防災組織、自治会などとの連携を検討していきたい。

# 委員会報告

## 経済建設 常任委員会

◎2月20日開催

新年度予算の主要事業、豪雪被害などについて報告を受け、質疑を行った。

これには委員外議員の出席を認め、全議員が参加し、村側から村長、担当課長・同補佐、係長が出席した。

### ▼新年度主要事業

新年度の主要事業については、建設水道課、産業振興課の担当者から説明があり、村内で予定されている国・県の事業についても説明があった。

### ▼豪雪・除雪状況

2月14・15日の豪雪と除雪状況について説明があり、今冬の除雪

費は集約中であり、1千万円を超えるとの報告があった。

### ▼フォレスパ木曽

フォレスパ木曽の営業については、宿泊者数が前年比8月は81%、12月が73%となったが、12月までの売り上げのトータルでは前年比116%となっている。

### ▼国有林事業

木曽森林管理署南木曾支署の丸山支署長ら

担当者の出席を求め、国有林事業について説明を受けた。南木曾支

署管内では、新年度の素材生産、造林、林道整備、蛇抜沢の治山事業などについて説明があった。また、木曽森林管理署と木曽の関係町村・森林組合などの森林整備推進協定に基づき、小川国有林と隣接村有林で森林整備事業を検討しているとの報告があった。

(報告者 古畑 昌夫)



中学生の林業体験

## 組合議会報告

### 木曽広域連合 議会報告

◎開催日 2月28日

◎場所 木曽文化公園

第1回定例議会には、条例改正、25年度一般会計・特別会計補正予算、26年度一般会計・特別会計予算等が上程され、審議の結果すべて原案通り可決、承認された。

### ▼新年度の主要施策

1. 広域観光振興計画の事業推進
2. 木曽川上下流交流事業の継続
3. 養護老人ホーム木曽寮の適切な運営
4. ごみ減量化とリサイクル推進・新焼却炉建設の具体的検討
5. 環境センターの延命化に促った整備
6. デジタル化された消

防・救急無線の万全な運用

7. 地域医療に係る広域的課題の調査研究
8. 文化公園の管理運営と整備計画の課題検討

(報告者 瓜尾美佐子)

### 松塩筑木曾老人福祉 施設組合議会報告

◎開催日 2月19日

議案は、平成26年度組合一般会計予算及び平成25年度組合一般会計補正予算(第3号)の2件で原案通り可決した。

### ▼平成26年度予算

平成26年度予算は、前年度比1億8800万円減、率にして4%減となった。ピアやまがた大規模改修事業の

経費を除くと、同4267万円減、率にして0.9%減である。

歳入では、短期入所・通所介護の利用率低下によるサービス収入を42億4050万円、率で0.4%減を見込む。歳出では、人件費の縮減に努めるが、燃料費の高騰、電気料金値上げなど増加要素が大きく、光熱水費は前年度比で大幅増となっている。また、消費税率改定の影響額は、約3300万円と算出。消耗品費の節減見直しなど影響局限に努める。

平成25年度組合一般会計補正予算は、歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ400万円を減じ、歳入歳出予算の総額を、歳入歳出それぞれ47億7300万円とした。

(報告者 水野 進)

# サークル紹介



昨年のコンサートを終えて

## コーラスクラブ コール・マルベリー ～コール・マルベリーの軌跡～

野尻女性コーラスから、コール・マルベリーと名前が変わりましたが、歌うことが大好きな先輩たちががんばってきてくれたおかげで、村に唯一残った女性コーラスグループとして歌い続けています。

現在は、指導者としてピアノリストに恵まれ民謡・ポップスなど多彩な曲に挑戦しています。

す。しかし、今の速いリズムに乗るのは難しく苦戦しながらも、皆で励ましあって楽しんで歌っています。

いつも支えてくれている家族、そして応援してくださる地域の皆様のおかげで今年もコンサートが開けます。厳しかった冬も週1回の練習を重ねてきました。5月の空にさわやかな歌声を響かせたいものです。どうぞお出かけください。そしてこれからも応援よろしくお願いします。

### 第6回 コンサート

5月25日(日)

開場 午後1時

開演 午後1時30分

野尻地区館

ぜひお出かけください。

## 作品紹介 3



草月流 大桑教室

春の暖かいやさしい光がお一人おひとりに届けられたらと、そんな気持ちでいけてみました。

### 編集後記

長かった冬と大雪がうそのように暖かくなった今日この頃。桜は咲き、桃の花も咲き始めました。

3月議会も新年度予算を可決し、いよいよ第5次総合計画がスタートします。計画通り進むことを願って私

たちもよりよい大桑村、住みよい大桑村にするために努力してまいりますので、本年度もご協力のほどよろしくお願いいたします。

春もたけなわとなり、田畑の仕事が忙しくなります。健康には十分留意され、昨年よりも多くの収穫を期待したいものです。

(沼)



委員長 横平 幸男  
副委員長 木戸 勘一  
委員 沼 友行  
岩佐 孝和